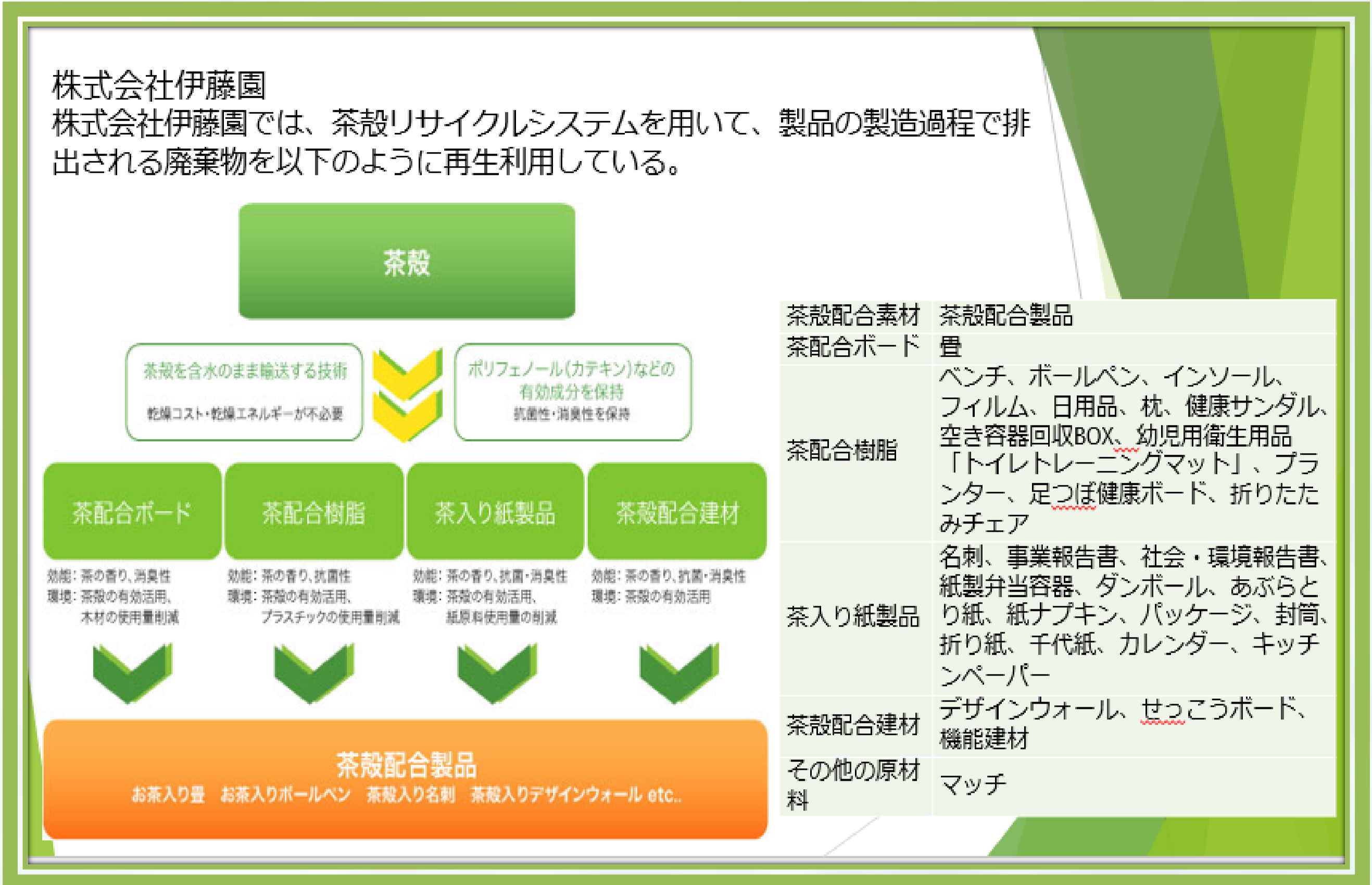
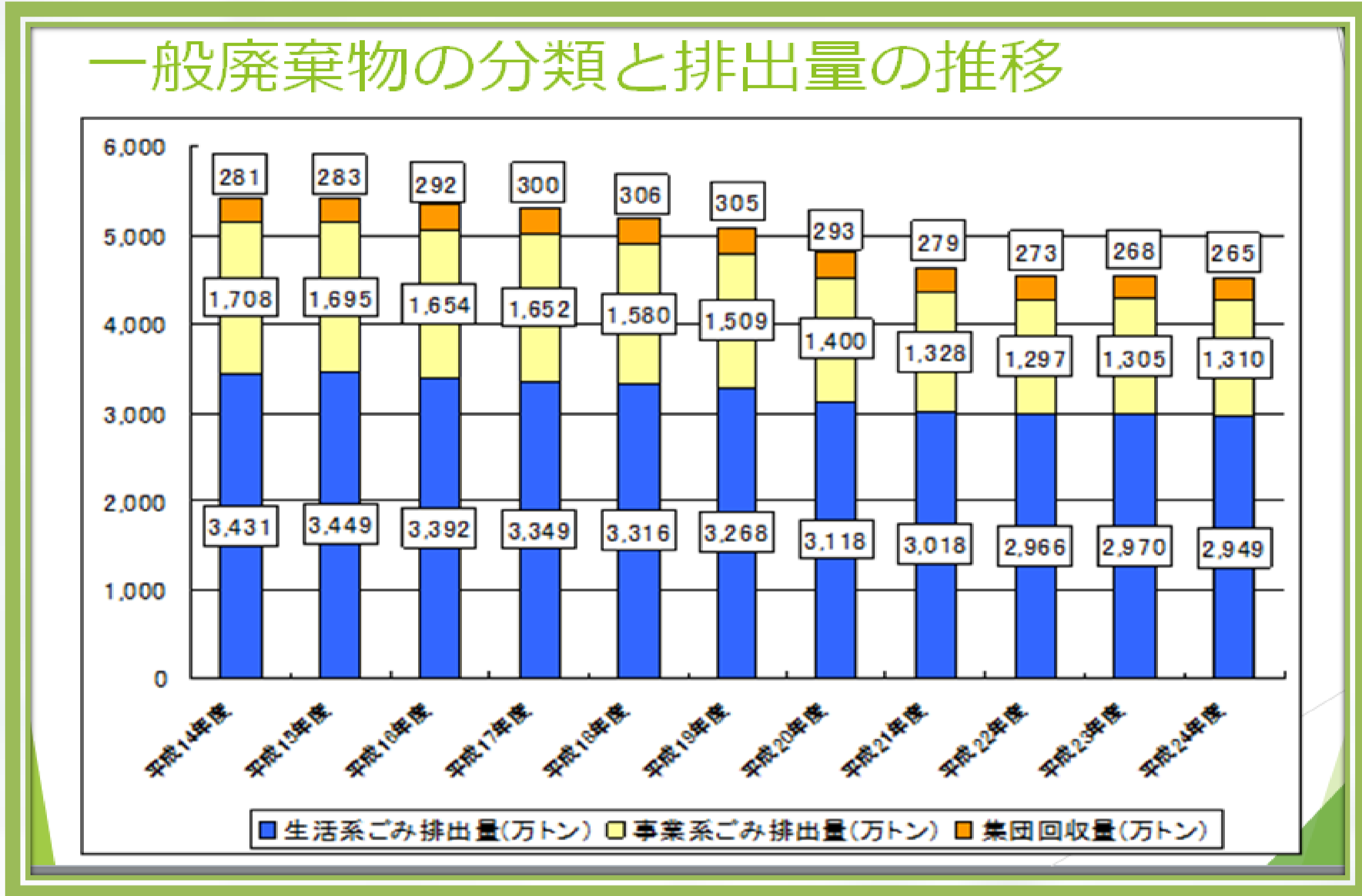


食品廃棄物の消臭効果及び有効活用

生活環境学研究室

渚 綾香

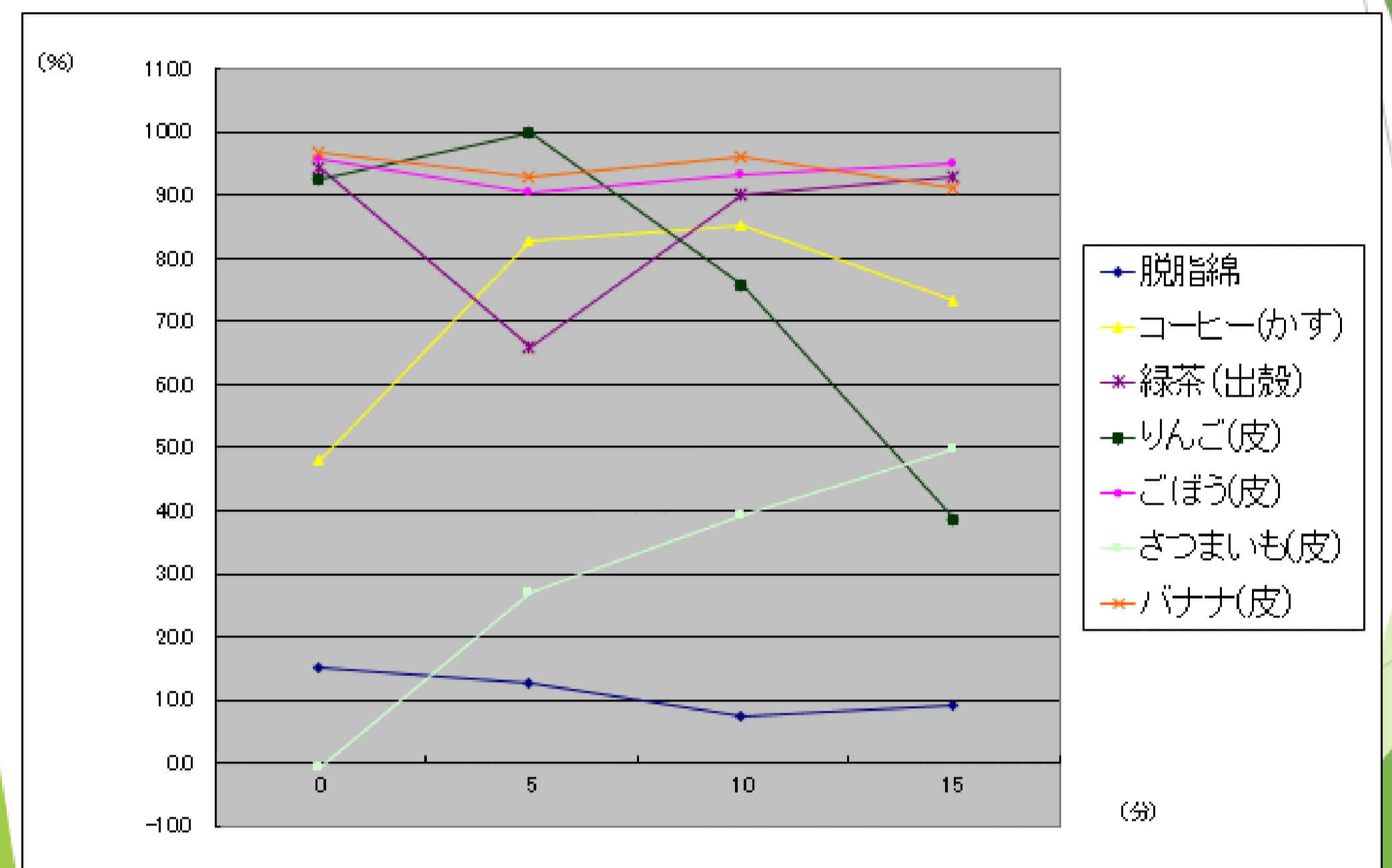
ごみ問題の現状を把握し、企業が取り組んでいる環境活動を調査した。その中でも食品廃棄物の消臭効果に着目し、食品廃棄物に含まれる成分を分析した。消臭効果を示す成分を特定し、消臭剤を作製することを目的とした。



アンモニア吸着度の結果(%)

対象物	0分	5分	10分	15分
コーヒー(かす)				
1回目	67.15	79.71	87.44	82.37
2回目	65.46	83.57	87.20	79.71
3回目	12.00	85.25	80.75	57.50
標準偏差	0.31	0.03	0.04	0.14
お茶(出殻)				
1回目	96.11	47.20	86.37	91.24
2回目	90.14	69.95	87.98	92.79
3回目	96.34	80.49	96.10	94.63
標準偏差	0.04	0.17	0.05	0.02
りんご(皮)				
1回目	Under	Under	Under	29.68
2回目	92.44	Under	75.61	47.32
標準偏差	0.65	0.00	0.53	0.12
ごぼう(皮)				
1回目	96.10	90.73	93.41	95.85
2回目	95.07	89.86	92.88	93.97
標準偏差	0.01	0.01	0.00	0.01
さつまいも(皮)				
1回目	26.03	40.27	42.19	46.30
2回目	-27.64	13.82	36.68	53.02
標準偏差	0.38	0.19	0.04	0.05
バナナ(皮)				
1回目	96.98	92.96	95.98	88.19
2回目	96.73	92.71	96.48	94.47
標準偏差	0.00	0.00	0.00	0.04
脱脂綿				
1回目	5.77	1.92	0.48	2.88
2回目	24.15	23.17	14.39	15.61
標準偏差	0.13	0.15	0.10	0.09

アンモニア吸着度の平均



消臭効果のある成分の働き

タンニン	抗酸化作用。肌を引き締める。下痢の改善。ガン予防。
コーヒー(かす)	生活習慣病の予防・改善効果。
バナナ(皮)	
クロロゲン酸	抗酸化作用。ダイエット効果。脂肪肝を予防。糖尿病の予防。
コーヒー(かす)	
ごぼう(皮)	
カテキン	抗菌・殺菌作用、脂肪の吸収を抑制する。生活習慣病の予防・改善効果。
緑茶(出殻)	
リンゴポリフェノール	血流を改善。口臭を予防。アレルギーを抑制。コレステロール値を下げる効果。老化を防ぐ効果。
りんご(皮)	
アントシアニン	抗酸化作用。血糖値上昇を抑制。視機能を改善する。メタボリックシンドロームを予防。花粉症を予防。
さつまいも(皮)	

- ごぼう(皮)、バナナ(皮)次いで緑茶(出殻)、コーヒー(かす)に強い消臭効果があることが判明した。
- 消臭剤の試料としては、コーヒー(かす)、緑茶(出殻)、ごぼう(皮)が適していると考えられる。
- 皿や目の細かいお茶パックのような袋に入れておくとよい。
- 今回の実験で最大でも15分の測定であったが、持続効果としては1~2日程度であると考えられる。